

災害への備え、万全ですか？



近年は、各地で自然災害(地震、台風、大雨、雪害など)の頻度が増え、大きな被害が見受けられます。災害は、いつどこで発生するかわかりません。災害に対して、事前に以下のような確認や備えが重要となります。

- 事前にハザードマップを確認しておく。災害が起きた時に避難する場所や災害時の行動など、自治体の最新情報を確認
- 家具が転倒しないよう、家具は壁に固定する、倒れた時に出入り口をふさいだりしないよう家具の向きや配置を工夫
- 手の届くところに、防災グッズ(懐中電灯、スリッパ、ホイッスル等)を備えておく



参考:災害に対するご家庭での備え～これだけは準備しておこう!～ 首相官邸ホームページ (kantei.go.jp)

防災グッズは、以下のようなものが挙げられます。

リュックサック(防災グッズを事前に入れておく)、懐中電灯(ヘッドライトなど)、乾電池、ラジオ、スリッパ、タオル、レインコート、防災ずきん、ホイッスル、給水袋、携帯トイレ、乾パン(非常食)、水、ガムテープ、軍手、マスク、消毒液、衛生用品(下着類、おむつなど)、ティッシュ、レジャーシート、絆創膏などの救急グッズ、メモ帳(筆記具)、防災シューズなど

※電池切れしていないか、非常食、水は消費期限が過ぎていないか、装備は使用できるか、いざという時の使用方法の確認など事前にチェックしておくことも大事です。



また弊機構では、防災に関連した様々な試験を実施しております。

今回は緊急避難時に必要な防災グッズの試験について、一部ご紹介いたします。

なお、9月1日「防災の日」にボーケンHPに防災情報をアップしておりますので、ぜひこちらもお覧ください。

防災への備え、万全ですか？ 🔍 検索

給水袋



●実用耐荷重試験(ボーケン法)

水を入れて持ち運ぶ際に、把手が外れる等の異常が発生しないか確認する。

【試験方法】

給水袋に満水容量まで水をいれた状態で、24時間吊り下げ放置後取り外し、外観を確認する。



簡易トイレ



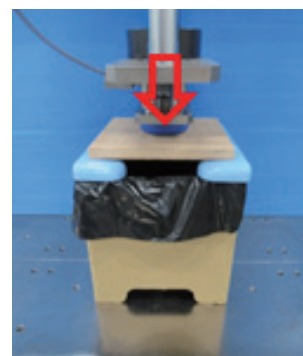
●座面の静的強度 (JIS S 1203 準用)

トイレ使用時に荷重により製品が破損する等、異常が発生しないか確認する。

【試験方法】

当て板を介して、既定の荷重を10秒間、10回加え、外観を確認する。

※荷重、回数等は変更可。



◆今回ご紹介いたしました試験以外にも様々な試験やサービスをご提供しておりますので、お気軽にご相談下さい。

上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

東京生活用品試験センター TEL:03-5669-1382 / FAX:03-5669-1387

大阪生活用品試験センター TEL:06-6577-0124 / FAX:06-6577-0126

